

一般社団法人 日本危機管理学会

Crisis & Risk Management Society of Japan
(CRMSJ)

概要

設立： 1992年4月1日

目的： 危機管理の研究及びその向上発展ならびに普及を図ることを目的とする。

活動内容：

1. 年次大会の開催（年1回）
2. 研究会・研究部会
3. 学会誌『危機管理研究』の発行
4. 危機管理に関する意見の表明
5. 内外の関連学会および団体との交流
6. その他本会の目的を達成するため必要とする事業

会長挨拶 増田 幸宏



現代は「VUCA」の時代と言われています。VUCA は、Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字をとった言葉であり、先を見通すことが困難な現代社会を表現しているものです。

災害（自然災害、人為的災害）、気候変動、政治、経済、国際情勢、安全保障、サイバーセキュリティ、社会環境の変化（人口減少、少子高齢化等）、技術革新（AI や IoT 等の急速な進展）等々、不安定で変化の激しい多様な要因が複雑に絡み合い、意思決定者がコントロールしきれない様々な不確実性が存在する現代社会において、個人にとっても組織にとっても、まずは命、そして生活や事業の継続を脅かす危機事象と真剣に向き合うことが不可欠です。危機管理は、私たちの社会の持続可能性（サステナビリティ）の重要な柱となるものです。

この文章を執筆している 2022 年 7 月時点においても、ロシア・ウクライナ危機、新型コロナウイルス感染症の再拡大、電力需給の逼迫、猛暑、記録的大雨による浸水や土砂災害、物価上昇、資源価格高騰、元首相銃撃事件等々、私たちの生活と社会を脅かす様々な出来事が続いています。私たちの心の安まる時がありません。安全、安心は、社会の Well-being (ウェルビーイング) の観点からも大変重要な要素となっています。

日本危機管理学会は、1992 年 4 月の設立以来現在までの 30 年間、このような時代の変化に応じて登場する様々な新しい危機への対応を研究し、実践し、時代の要請に応じて参りました。多様なバックグラウンドをお持ちの方々が集い、自由闊達に議論を交わすことのできる日本危機管理学会は大変貴重な場であり、今後学会が果たす役割はますます大きくなると考えています。不透明で不安定な、このような時代だからこそ、様々な分野の英知を結集し、未来を展望したいと強く願っております。

危機と向き合うことは、決して守りの姿勢ではありません。試練を克服することで私たちの社会は進化・深化し、成長する重要な契機となります。大変厳しい状況であるからこそ、危機事象に負けないレジリエントな社会の構築に向けて、希望を持って研究と実践に取り組み、そのたゆまぬ挑戦から、未来への新しい可能性を見いだして参りたいと考えております。真に安全で安心のできる社会の実現という観点から、学会の研究成果を積極的に公表し、社会に貢献をして参りたいと考えております。

2022 年 7 月吉日

役員

(2022年12月末現在)

会長	増田 幸宏	芝浦工業大学 システム理工学部 教授
理事長	新西 誠人	多摩大学 経営情報学部 専任講師 リコー経済社会研究所 客員主任研究員
常任理事	安藤 裕一	株式会社 GMSS ヒューマンラボ 代表取締役・医師 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター 客員研究員
同	大森 朝日	株式会社大森朝日事務所 代表取締役
同	篠原 雅道	MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 データマネジメント部
同	下平 拓哉	事業構想大学院大学 教授 東海大学平和戦略研究所 客員教授 江戸川大学 非常勤講師 国士舘大学政治研究所 特別研究員 日本戦略研究フォーラム 上席研究員
理事	岩井 克己	倉敷芸術科学大学 非常勤講師 株式会社アイダ設計 社外取締役
同	小野 愛	ソニー株式会社
同	金山 勉	学校法人 摺河学園 姫路女学院中学校・高等学校 副校長 法人副理事長
同	倉持 一	実践女子大学 准教授 笹川平和財団 客員研究員
同	武重 直人	リコー経済社会研究所 主任研究員
同	芳賀 裕理	リコー経済社会研究所 研究員
経理責任者	堀越 繁明	デロイトトーマツサイバー合同会社 マネージングディレクター 事業継続推進機構 副理事長
名誉会長	原田 泉	清泉女子大学 非常勤講師
特別顧問	酒井 明	東京福祉大学・大学院 特任教授
事務局長	芳賀 裕理	(前掲)
事務局長代理	河内 康高	リコー経済社会研究所 研究員
編集委員会	委員長：金山 勉、委員：大森 朝日、新西 誠人	

一般社団法人日本危機管理学会 会員募集

日本危機管理学会は会員を募集しています。危機管理専攻の研究者・学生のみならず、ビジネス界・官公庁などで活躍中の方や一般の学生の入会を期待しています。

入会を希望する方は、学会サイト (<https://crmsj.org>) の入会申込書に御記入の上、Eメールで info@crmsj.org へお送りください。事務局から連絡申し上げた後、所定の会費をお振り込みください。

1. 会費振込先

みずほ銀行

支店名：東京中央支店（店番号 110）

普通預金口座番号：2908712

口座名義：日本危機管理学会（ニホンキキカンリガツカイ）

- * 大変恐れ入りますが、お振込費用はご負担願います。
- * お振り込みの際には、会員名を必ずご明記ください。

2. 年会費

個人会員：10,000 円 学生会員：5,000 円 法人会員：30,000 円

3. 学会事務局

〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6

リコー経済社会研究所内 日本危機管理学会事務局 事務局長：芳賀裕理

事務局へのお問い合わせや連絡等は、info@crmsj.org へ Eメールにてお願いいたします。

提供された個人情報は、学会に関する郵便物の送付や会員への連絡、会員構成等の学会内の統計処理にのみ使用します。



日本危機管理学会第31回年次大会
(2022年5月、東京)